

## 『双極性障害患者における2年以内の再入院に関連する要因の検討』

《対象者》

2015年10月1日～2018年9月31日に長浜赤十字病院の精神科病棟を退院した双極性障害の患者。

### 【調査協力をお願い】

当院では2015年10月1日～2018年9月31日の期間に当院精神科病棟を退院された上記対象患者さんについて、以下のとおり調査を行います。この調査は対象患者さんの臨床情報を調査する研究で、患者さん個人から直接の同意はいただきず、調査実施に関するインターネットへの掲示によるお知らせを持って研究に同意をいただいたものとします。皆さま方におかれましては、本研究・調査の主旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

なお、本研究・調査への参加を希望されない場合や研究調査に関するご質問等は下記の問い合わせ先までご連絡をお願い申し上げます。

### (1) 調査の概要

研究の題名 : 双極性障害患者における2年以内の再入院に関連する要因の検討

対象病名 : 双極性障害

情報収集期間 : 2015年10月1日～2020年9月31日

研究期間 : 承認日～2022年9月

研究責任者 : 西嶋 長

### (2) 調査の意義・目的

本研究では双極性障害患者における再入院に関連する要因を明らかにすることで、再入院リスクの高い患者に対して有効性の高いコメディカルの介入や心理社会的な支援を通じて地域生活の維持に貢献することを目的とする。

### (3) 調査の方法

以下の項目を退院後2年以内の再入院をアウトカムとして、電子カルテの情報をを用いて後方視的に調査する。対象者を過去2年間当院精神科外来への通院が継続できていた患者（外来継続群）と、退院後2年以内に精神疾患の増悪を伴って当院精神科病棟に再入院した患者（再入院群）に分け、以下の項目について比較する。

①性別、②年齢、③教育歴、④就労歴（就業形態）、⑤婚姻歴、⑥自殺企図歴、⑦退院後の居住形態、⑧直前の入院形態、⑨直前の入院期間、⑩入院時の病相、⑪直前の退院処方および入院当初の処方における投与薬剤量・服薬回数、⑫入院中の介入、⑬コメディカルの関与、⑭退院後の支援。

次に退院後の再入院に関連する可能性が高いと考えられた項目を選定し、Cox 比例ハザードモデルを用いて多変量解析を行う。

研究データは個人を特定できないように匿名化し、電子媒体によりパスワード設定によるアクセス制限を設けた上で保管する。

個人情報個人を特定できないように匿名化番号を用いて管理する。個人と匿名化番号の対応表は電子媒体によりパスワード設定によるアクセス制限を設けた上で、外部ネットワークから分離された院内サーバに保管する。データの保管は当院の研究責任者が管理する。

### (4) 利益・不利益に関して

本研究に関し、開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

### (5) 個人情報保護について

個人情報は個人を特定できないように匿名化番号を用いて管理し、個人と匿名化番号の対応表は厳重に管理する。

(6) 調査結果報告について

学会発表および学術誌に投稿予定とする。

(7) その他

特記事項なし。

(8) 問い合わせ等連絡先

・長浜赤十字病院 薬剤部 酒井 要

住所： 〒526-8585 滋賀県長浜市宮前町 14 番 7 号

電話： 0749-63-2111 FAX： 0749-63-2119